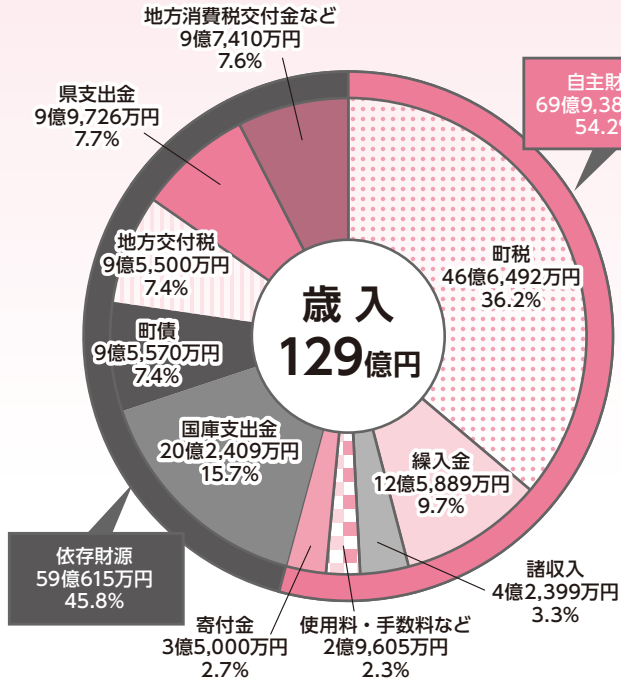


一般会計

歳入

令和4年度

当初予算



町の令和4年度予算の概要を説明します。

問 財務課財政係 ☎767-2116

- 自主財源** …町税や施設使用料など、町が自主的に調達できる財源
- 依存財源** …国や県の基準により決定され、交付される財源

当初予算の基本的な考え方

令和4年度当初予算は、施政方針に掲げるとおり、前年度からスタートした新総合計画の実現に向けた事業を中心に予算を計上しています。また、未だ収束の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の取組みを最優先として、各事業を推進していきます。

主な事業としては、新たに新生児1人当たり3万円の育児支援金を給付する事業や、新生児聴覚検査の助成事業などさらなる子育て支援の充実を図るほか、老朽化が著しい公共施設等の長寿命化対策事業や交通渋滞対策として新設道路の整備事業などに取り組みます。令和4年度においては、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えながら、町民の皆様一人ひとりが幸せとゆたかさを実感いただける将来へ持続可能なまちづくりのための諸施策に予算の重点配分を行いました。

当初予算の概要

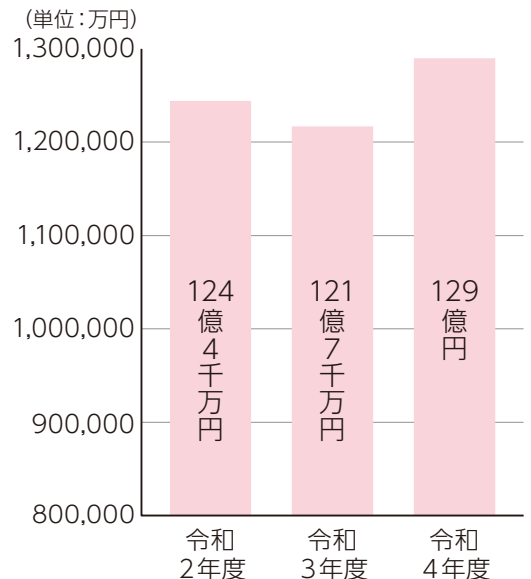
令和4年度の予算総額は、12.9億円で前年度と比べて7億3,000万円、6.0%の増となりました。

なお、町が自主的に調達できる自主財源については、前年度と比べて、5.7%の増となっております。主な要因としては、ふるさと応援寄附金の増や、商業施設の増加等による町税収入の増によるものです。

特別会計、公営企業会計

会計名		予算額	前年度比
特別会計			
国民健康保険特別会計		32億2,576万円	8.8%
介護保険特別会計		23億3,553万円	1.8%
後期高齢者医療特別会計		3億4,131万円	8.1%
町営墓地特別会計		1,098万円	△ 0.1%
公営企業会計			
水道事業会計	収益的	収入	10億6,973万円 0.3%
		支出	9億8,197万円 4.8%
	資本的	収入	1億3,550万円 35.0%
		支出	4億5,350万円 △ 6.6%
下水道事業会計	収益的	収入	13億4,915万円 8.3%
		支出	13億3,177万円 8.3%
	資本的	収入	3億6,553万円 △ 38.6%
		支出	5億2,217万円 △ 25.8%

一般会計当初予算の推移



【歳出科目別】
町民1人あたりの行政経費

合計 357,618 円

(歳出総額÷人口)

※令和4年2月28日現在人口 36,072人

民生費



131,861 円

児童、高齢者、障害者の福祉など

総務費



45,119 円

課税徴収、防災、戸籍事務など

教育費



44,212 円

学校教育、社会教育、体育施設の維持管理など

公債費



31,031 円

町の借金の返済費

衛生費



27,695 円

環境保全、ごみの処理など

土木費



35,574 円

道路、公園などの整備や維持管理など

消防費



14,822 円

風水害・地震・津波を含む災害予防など

商工費



15,669 円

商工、観光の振興など

その他

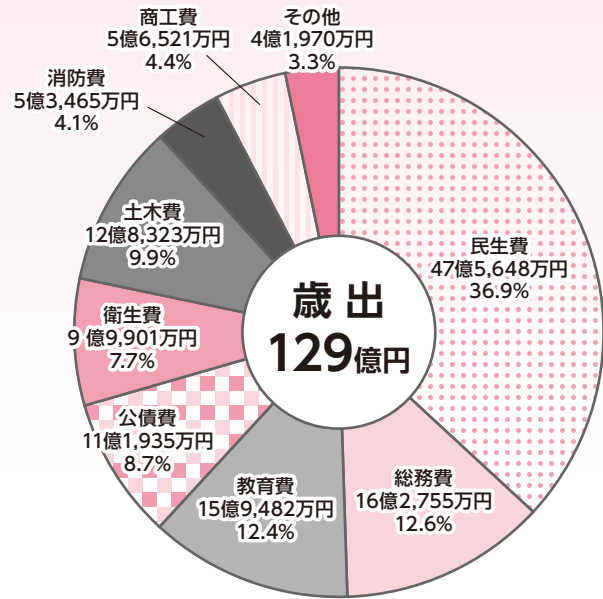


11,635 円

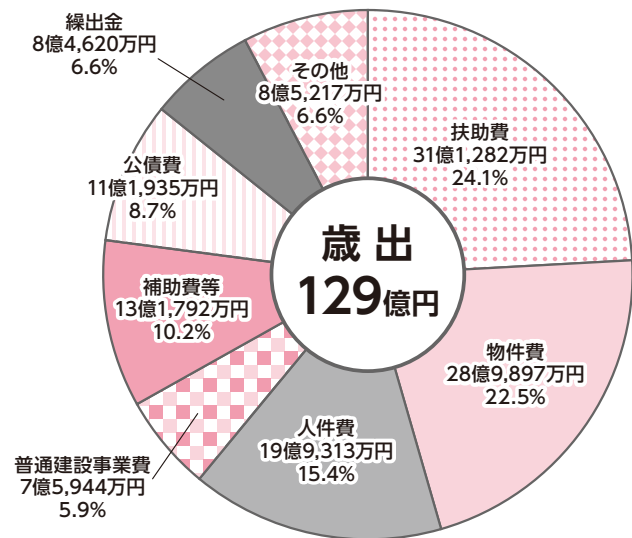
- ・議会費
- ・労働費
- ・災害復旧費
- ・農林水産業費
- ・予備費

一般会計

歳出



一般会計 性質別に見た歳出の状況



物件費

人件費、維持補修費、扶助費、補助費等以外の消費的性質の経費の総称

扶助費

社会・児童・老人福祉法等に基づき、被扶助者に対して、生活を支援するために支出する経費

人件費

議員報酬や町職員等の給与等の経費

公債費

町が借り入れた地方債の返済に要する経費

補助費

一部事務組合や町内の団体等に補助する経費

線出金

一般会計から特別・企業会計に支出される経費

普通建設事業費

道路や公共施設の新設・改修などの建設事業に要する投資的経費